

令和7年度市長との意見交換会での意見に対する
現在の状況について（令和8年5月1日時点）

テーマ「災害に負けないまちづくり」

(1) 生石研修センター

テーマについての意見交換

参加者	現在の状況
<p>高砂市の津波対策に不安がある。県の調査では死者87名の見込みがあるが、対策が進んでいない。ハード・ソフト両面で、市の方針や避難情報も不足し、ハザードマップに津波のことが書かれていないため、市民が津波の危険を認識していない。南海トラフ地震により津波が押し寄せると、避難は困難。迅速な対策検討と実施を望む。</p>	<p>【総務部】 ソフト面については、令和8年度末に兵庫県から新たな津波浸水想定が発表される予定であり、市民にも周知していく。 また、兵庫県に確認すると、ハード面については、高砂市の港湾施設の必要な整備はすでに完了していることから、今後新たな計画の見直しがあれば、県と連携・協議を行っていく。</p>
<p>他地域（南あわじ市・尼崎市など）の津波対策や高潮対策は進んでおり、高砂市も同様のハード施策検討が必要。例として、尼崎の閘門設備のような具体策を提案したい。</p>	<p>【総務部】 ソフト面については、令和8年度末に兵庫県から新たな津波浸水想定が発表される予定であり、市民にも周知していく。 また、兵庫県に確認すると、ハード面については、高砂市の港湾施設の必要な整備はすでに完了していることから、今後新たな計画の見直しがあれば、県と連携・協議を行っていく。</p>
<p>備蓄物資や災害用トイレについて。特に車椅子対応はどうなっているか。</p>	<p>【総務部】 自動ラップ式トイレについては、車椅子の方も利用できるよう、手すりとして使用できるアームも併せて購入し備蓄を行っている。今後も、備蓄物資の購入を行っていく中で、女性、福祉など様々な視点の意見を取り入れて、備蓄物資の選定を行っていく。</p>
<p>備蓄物資の中にアレルギー対応食は用意されているか。</p>	<p>【総務部】 パンを除く食料については、原則28品目のアレルギーに対応しているものを選定して備蓄を行っている。また、粉ミルクについてもアレルギー対応のものを備蓄している。今後も、アレルギー対応を考慮した備蓄品の選定を行っていく。</p>
<p>地区防災計画が自治会で作成されていないところがあり、自治会長の協力を促してほしい。</p>	<p>【総務部】 地区防災計画として市に提案していないものの、地域独自の防災計画を持っている地域は存在する。今後、地区</p>

	防災計画化に向けて、自主防災会に支援を行っていく。
旧耐震基準の住宅に対する無料の耐震診断制度はあるか。	【都市創造部】 昭和 56 年 5 月 31 日以前に着工した旧耐震基準の戸建住宅については、簡易耐震診断を無料で受けていただける制度を実施しており、建築住宅課に問い合わせいただければ、制度のご案内をさせていただきます。

フリートーク

参加者	現在の状況
文化会館移転にかかる予算などの詳細は。	【協働部】 文化会館は、建て替え整備に向け、候補地を検討している。 令和 8 年度に基本構想の策定などの経費を計上し、市民の文化芸術活動を支える拠点施設としてのめざすべき姿や規模・機能などの基本的事項を整理し示していく。
市民病院が文化会館の敷地へ移転するというのは決定事項か。 水害の懸念に対する対策は。	【政策部】 令和 8 年度に「高砂市民病院新病院基本構想・基本計画」を策定する予定である。 本構想・計画では、現文化会館敷地を移転地として敷地配置の検討を行う。 浸水対策については、令和 7 年 12 月に策定の「高砂市民病院の将来予測の結果による経営形態」において検討を行ったが、本構想・計画においても引き続き検討を重ねていく。

(2) 北浜地域交流センター

テーマについての意見交換

参加者	現在の状況
伊保小学校の運動場横の川の土手の高さが低く、津波や大雨時に心配。市役所裏の川沿いも同様に大丈夫か。	<p>【総務部】</p> <p>ハード整備については嵩上げ工事等が終了しており、対応済み。</p> <p>避難を考える場合、小学校区に縛られることなく、安全な避難所等に避難を行うよう、今後も周知を図っていく。</p> <p>【上下水道部】</p> <p>台風12号時の時間最大降水量 77.8 ミリの降雨を再現したシミュレーション解析を実施し、この時の豪雨に対して床上・床下浸水被害をなくすための浸水対策計画を策定し、これに基づいた河川、下水道対策を令和6年度末で概ね完了した。</p> <p>令和6年度に完成した松村川排水機場においては、台風の接近等で大雨が予測される時は、事前にポンプで排水することで、市街地に降る雨を自然流下で、内水排除できるようになっており、伊保・曾根地区のより一層の浸水軽減が図られるものと考えている。</p>
台風 12 号時の曾根地区の豪雨とポンプ場の排水能力について不明瞭。実際にどの程度の雨量に対応可能か説明を。	<p>【総務部】</p> <p>現在、ハザードマップを活用した内容の出前講座を実施しており、今後も継続する。また、今後、ハザードマップが更新された際は、新たな被害想定の説明を行う出前講座メニューを設け、周知を図っていく。</p> <p>【上下水道部】</p> <p>台風12号時の時間最大降水量 77.8 ミリの降雨を再現したシミュレーション解析を実施し、この時の豪雨に対して床上・床下浸水被害をなくすための浸水対策計画を策定し、これに基づいた河川、下水道対策を令和6年度末で概ね完了した。</p> <p>令和6年度に完成した松村川排水機場においては、台風の接近等で大雨が予測される時は、事前にポンプで排水することで、市街地に降る雨を自然流下で、内水排除できるようになっており、伊保・曾根地区のより一層の浸水軽減が図られるものと考えている。</p>
松村川の桜の老木化と川の水位上昇について。桜の植え替え計画は？ また、近隣の土手は満ち潮の際に水の量が多く感じる。安全性は？	<p>【都市創造部】</p> <p>松村川・鹿島川西側の桜については、交通量の多い幹線道路に面しており、通行等の安全上支障になると考えている。現在、将来の植樹計画については策定していない。</p>

	<p>【上下水道部】</p> <p>防潮水門により海水の逆流を防いでいる。上流から流れてくる水の影響で、水の量が多く感じる時もあるが、大雨時にはポンプを使って強制的に排水する。また、台風の接近等で大雨が予測される時は、事前にポンプで排水を行い、雨水貯留容量を確保し市民の安全・安心のため大雨に備えている。</p> <p>また現在、松村川の河川内にあった鹿島排水機場を撤去しており、松村川の更なる貯留効果及び松村川排水機場の更なる排水効果が期待できる。</p>
<p>どんな連携協定を結んでいるのか、具体的に教えてほしい。</p> <p>また、仮設トイレの設置数や設置にかかる期間、災害時の支援内容の具体例を教えてほしい。</p>	<p>【総務部】</p> <p>災害協定については、令和 7 年度において物資供給や災害応急・復旧に係る協定を 5 件締結した。</p> <p>また、仮設トイレについては、発災後4日目から使用できるよう、災害時トイレ確保計画に基づき整備することとしている。</p>
<p>プラグインハイブリッド車による電力供給は携帯電話の充電のみか。ほかの家庭用機器の電源は取れないのか。</p>	<p>【総務部】</p> <p>プラグインハイブリッド車による電力供給については、携帯電話の充電に限らず、車載コンセント等を活用することで、家庭用の小型電気機器への電源供給も可能な体制を整備している。</p>
<p>公民館、自治会館に蓄電池設置の計画は？</p>	<p>【総務部】</p> <p>現在、地域交流センターに蓄電池の配備は行っていない。現在、備蓄計画に基づいて、各避難所に発電機の配備を行っているところであり、発電機の配備が完了した後、蓄電池の配備について検討していく。</p>

フリートーク

<p>参加者</p>	<p>現在の状況</p>
<p>市民病院の文化会館敷地への移転計画について。文化会館の今後の方針は？</p>	<p>【協働部】</p> <p>文化会館は、建て替え整備に向け、候補地を検討している。</p> <p>令和 8 年度に基本構想の策定などを行い、市民の文化芸術活動を支える拠点施設となるよう取り組んでいく。</p>
<p>今年度末で閉館する生石研修センターの後は？解体はするのか。</p>	<p>【生活環境部】</p> <p>令和8年3月末で用途廃止し、現在は施設を閉館している。今後の施設活用については、庁内委員会で検討を行っている。</p>
<p>市民病院小規模化・文化会館建て替え・市役所新築・播磨臨海道路など財政負担が懸念。どう考えるか。</p>	<p>【政策部】</p> <p>運営面については、持続可能な病院運営を確立するため、指定管理者制度の導入を行う。</p> <p>建設面については、令和 7 年 12 月に策定の「高砂市民</p>

	<p>病院の将来予測の結果による経営形態」では、延床面積 12,000 m²で医療機器を除く事業費は約 138 億円と試算している。</p> <p>令和 8 年度に策定を予定している「高砂市民病院新病院基本構想・基本計画」においては、院内ヒアリングを行い、再度試算を行う。</p> <p>持続可能な行政運営となるよう、令和 8 年度に「公共施設等総合管理計画」、「公共施設全体最適化計画」の見直しを行う。</p> <p>【財務部】 令和8年3月に、新病院建設及び公共施設の更新を踏まえた中期財政計画・長期財政見通しを策定した。また、公共施設の更新については、10 年後以降も財政運営に影響を及ぼすことが見込まれることから、新たに 30 年間の超長期財政見通しを作成し、将来の財政負担について公表した。</p> <p>今後も、直近の地方財政計画を基に中期財政計画及び長期財政見通しを作成し、財政状況を的確に把握するとともに、持続可能な財政運営に努める。</p>
<p>北浜に救急車配備希望の声があるが、市の現状は？</p>	<p>【総務部】 平日の日中は、北浜地域交流センター内に救急隊と救急車が待機して対応を行っている。</p>
<p>これからの安全安心のために、地域の繋がり(地域力)をどう強化するか。 急傾斜地の崩落リスク対策は？</p>	<p>【総務部】 地域の繋がり(地域力)は地域の防災力に直結するものと考えている。自主防災組織への助成事業や、県が行っている補助事業の活用などを促すことで、地域の活動の維持、活性化を図っていく。</p> <p>【協働部】 高砂市では自治会活動の ICT 化を推進しており、地域運営体制の持続可能な整備を目的として、自治会支援アプリの導入等に補助金を交付することとしている。</p> <p>アプリの活用により、自治会活動の負担軽減や、地域力の強化を図っていきたいと考えている。</p> <p>【都市創造部】 北脇地区において、兵庫県により急傾斜地崩壊対策事業が進められている。R7 年度から R8 年度にかけて、現地測量、地質調査、詳細設計を実施する。</p>

空き家活用策は？

山火事防止のための施策は？

【都市創造部】

高砂市空家等対策計画に基づき取り組んでいる。令和9年度の計画改定に先立ち、令和8年度は空家等実態調査を実施を予定している。また、民間企業と協定締結し、空き家に関するコンテンツを提供している。

【消防本部】

山火事の防止について、ホームページでの広報のほか、登山口及び登山道に山火事防止標識を設置し、入山者に対して啓発を行っている。また、適宜、山裾も含めた防火パトロールを実施している。

火災予防条例について、林野火災の予防に関する事項の追加等必要な改正を行い、令和8年4月から運用している。

(3) 高砂市役所

テーマについての意見交換

参加者	現在の状況
避難所での避難生活時に、感染症の問題や衛生面の管理についてどのように考えているか教えてほしい。	【総務部】 市の指定避難所には感染症対策キットを配備しており、手指消毒液やマスクなど、感染対策に必要な物品の配備をしている。加えて、毎年、避難所運営担当職員を対象に、訓練を行っており、訓練内で避難所内における感染症対策、受け入れ時の注意点なども取り扱っている。
南海トラフ巨大地震の津波対策について、防潮堤が少ないがどうか。また、ハザードマップがわかりにくいので改善できないか。	【総務部】 兵庫県に確認すると、ハード面については、高砂市の港湾施設の必要な整備はすでに完了しているとのことから、今後新たな計画の見直しがあれば、県と連携・協議を行っていく。
1. デジタルハザードマップに福祉避難所や災害種別の避難所表示を追加してほしい。 2. 災害時のペット同行避難について、受け入れ体制や備蓄状況、対象ペットの範囲を教えてほしい。 3. 学校避難所利用時の早期復旧マニュアルなど教育再開の方針はどうか。	【総務部】 1. 福祉避難所については、「施設利用者に限る」など、受け入れに条件を付しているところもあることから、現在、一覧表として情報を提示している。地図情報として情報提供を行うことについては、今後検討していく。 2. ペットについては、同行避難のみ認めている。避難所で過ごす際は、ペットをゲージなどに入れることを条件としているので、ゲージ等に入れることができないペットは対象外となる。現在、ペット用の備蓄は行っておらず、必要な物品は避難時に持参いただくこととしている。 3. 令和 8 年度に大規模災害時における学校の利用計画を作成する予定であり、原則、教室は学校再開のため使用せず、特別教室等を活用した内容で検討していく。
ペット避難に屋外での対応は、暑さ寒さの問題があるため、ペットシート等の備蓄が必要ではないか。	【総務部】 現在、ペットシート等の備蓄は行っていない。市として備蓄を行った場合、備蓄期限が到来した場合の活用も考慮して備蓄品を選定する必要がある。 市内のホームセンターと物資調達の協定を締結しており、災害時には協定先からペット用品を調達することについても協議していく。
体育館を避難所にした際、避難者が勝手に教室に入ることを防ぐための施錠や二重扉設置など物理的対策は検討しているか。	【総務部】 令和 8 年度に大規模災害時における学校の利用計画を作成する予定であり、校舎を活用した各種対策の中で、セキュリティ面については今後検討していく。

<p>各団体や中学生が別々に災害時の訓練・勉強(避難所運営ゲーム等)をしているが、被災時には全員の連携が必要。11月の総合防災訓練の中で、全体をまとめた訓練の実施は可能か。</p>	<p>【総務部】 11月に実施していた総合防災訓練については、市民が自助・共助を意識できるよう関係機関と連携して令和7年度より防災フェアとして実施している。 各種団体や中学生等の若年層も含めた地域全体での実践的な訓練の実施については、地域、学校や関係機関と協議を行いながら検討を進め、より実効性の高い防災体制の構築を図っていく。</p>
<p>避難所で、今までの災害で女性用生理用品や赤ちゃんオムツの配布が遅れた事例があるが対策は。 性被害防止のための女性専用スペースや避難グループ単位の配置が必要と思うが市の対応は。</p>	<p>【総務部】 性被害防止策については、令和8年度に大規模災害時における学校の利用計画を作成する予定であり、校舎を活用した各種対策の中で、女性専用スペースの設置も検討していく。</p>
<p>津波時に避難場所が満員の場合や混雑時の対応は。備蓄の浸水対策はどうなっているか。</p>	<p>【総務部】 南海トラフ地震の場合、地震発生から津波到達まで117分と想定されている。避難場所として、避難所となる施設以外に、高さのある頑強な建物を津波避難ビルとして指定している。またこれらの施設以外でも、頑強で高さのある建物等に避難することも有効であるため、慌てず避難を行うよう呼びかけを行っている。 市の備蓄物資については、市内の複数箇所へ分散して備蓄を行い、備蓄している場所によっては、2・3階などの場所に備蓄するなど、浸水により、すべての備蓄物資が活用できない状態を回避するように対策している。</p>
<p>ペットの屋外避難は環境的に厳しいため、空調管理された屋内避難場所の設置は検討可能か。</p>	<p>【総務部】 これまで、避難者へ空調管理された空間を避難スペースとして提供できるよう調整してきた。避難者とペットを同じ空間で避難していただくことは、アレルギー問題もあることから難しいため、ペットに対して、空調管理された空間を提供することについては、現時点では難しいと考えているが、先進事例も参考に調査・研究していく。</p>

フリートーク

参加者	現在の状況
<p>高砂市にはこれといっためぼしいものがない。 温泉を掘って宿泊施設も入った道の駅があったら楽しいかなと思う。何か一つ作ったらどうか。</p>	<p>【都市創造部】 高砂・荒井では、魅力ある駅前広場の整備に向け検討中(R8は基本設計)です。</p>
<p>市民病院の経営赤字の原因は医師不足と診療報酬の低さ。経営形態の見直しで医師確保や赤字解消が可能か。</p>	<p>【政策部】 持続可能な病院運営を確立するため、指定管理者制度の導入を行う。 医師確保については、「高砂市民病院指定管理者募集</p>

	<p>要項」において、内科の診療体制の充実を図ることを求めている。</p> <p>【市民病院】 医師確保については、神戸大学、岡山大学、加古川中央市民病院に継続して派遣依頼をしており、専攻医や外科常勤医師の派遣、共同研究による医師派遣等が行われた。 経営形態の見直しにより指定管理者制度への移行が決まったが、指定管理者独自の医師確保策もあると思われるが、引き続き派遣元大学等へ派遣依頼を続けていく。</p>
<p>市民病院のベッド数削減(199床→127床)やコンサル費用について。医療費削減の国の政策も踏まえ、市が医療を守る姿勢を示すべきではないか。</p>	<p>【政策部】 持続可能な病院運営を確立するため、指定管理者制度の導入を行う。 市民病院を存続させることで、市民のいのちと健康を守っていきたいと考えている。</p> <p>【市民病院】 人口減少や医療需要の変化、医療人材不足等により、市民病院の経営環境は厳しさを増している。このため、病床数の適正化を図り、外部専門員の活用により経営改善を図るとともに、国への要望と、医療の効率化、質の確保、地域連携の強化により持続可能な地域医療体制の構築に取り組んでいく。</p>
<p>市に対しての意見・質問と市の回答を全市民が閲覧できるシステムはあるか。なければ作ってほしい。要望。</p>	<p>【政策部】 市に対するすべての質問・要望に対する回答を一括で閲覧できる仕組みは構築できていないが、このタウンミーティングやこども若者ワークショップなど、各部署が実施した意見聴取への回答は市ホームページで公表できている。テキストベースで概要をお伝えするなど、より見やすくわかりやすい公表方法となるよう今後も努めていく。</p>
<p>播磨臨海地域道路建設計画について、人口減少や環境への影響、増額する予算の妥当性に疑問がある。丁寧な説明や調査、住民周知を求める。</p>	<p>【都市創造部】 令和7年6月に公聴会を県主催のもと開催し、都市計画案作成のための意見聴取を行った。 今後、環境影響調査に係る準備書について市民へ説明する。周知については、広報誌やホームページ等を通じて発信し、適切に対応していく。</p>
<p>播磨臨海地域道路建設計画では高砂斎場にもかかっていたと思うが、今東京では斎場が民営になって値段が上がっていると聞いた。高砂斎場が建て替えになった</p>	<p>【都市創造部】 現在の道路計画では、高砂斎場の建物には支障しない計画で、駐車場の一部が支障となる計画となっており、</p>

<p>ときに民間への売却はあるのか。</p>	<p>斎場の機能に影響はない。</p>
<p>学校給食のお米に関して。新技術で品種改良した銘柄は、家庭で取り入れるのは各家庭の自由だが、学校給食には取り入れてほしくないと思っている。給食に採用されるお米の銘柄や産地をホームページなどで公開できないか。</p>	<p>【教育部】 現在、学校給食で使用しているお米は、JA 兵庫南管内で生産されたヒノヒカリを使用しており、新技術で品種改良した銘柄のお米を取り入れる予定はない。お米の産地情報については、ホームページに掲載している。</p>
<p>高砂町の買い物環境が不便。スーパー不足で高齢者の生活が困難。新商業施設誘致や移動販売による支援を求める。</p>	<p>【生活環境部】 高砂駅前商業施設跡地の利用については、早期の計画の公表と早期着手を引き続き企業に対して要請し、進展があれば市民、市議会に報告していく。 買い物支援については、事業者及び自治会と調整を行い、令和7年11月から移動販売が開始されている。</p>
<p>市民プールが廃止予定だが代替施設の計画は。市民意見の反映も希望する。</p>	<p>【協働部】 市民プールの廃止後は、市民から水泳機能の代替として、室内プールの設置を求める声が多く寄せられており、民設民営による室内プールの設置を目指している。</p>

(4) ユーアイ帆っとセンター

テーマについての意見交換

参加者	現在の状況
<p>水道の耐震化はどう進んでいるのか。</p> <p>水道料金を上げて耐震化を進める名目だったが、県内でも耐震化率が低く大丈夫か。災害時の水道管破損の影響は大きい。耐震化の進め方について教えてほしい。</p>	<p>【上下水道部】</p> <p>水道の耐震化については、更に事業を加速するため令和7年度に水道事業経営戦略を改定した。</p> <p>その中で、米田水源地浄水施設の耐震化率を令和9年度までに100%にするとともに、水道基幹管路の耐震化率を新たに令和17年度までに25%達成できるよう投資目標に掲げている。</p> <p>現在、米田水源地浄水施設は令和9年度末に向け更新工事を進め、水道基幹管路については、目標達成に向けて随時更新工事を進めているところである。</p>
<p>災害時の、高校の避難所への立ち入りはどうなっているか。鍵を自治会長などに渡すなどの配慮は可能か。</p>	<p>【総務部】</p> <p>県立高校、私立高校を避難所として開設する場合、市の独断ではなく、協議して開設することになっている。各高校の鍵は、市で預かって管理しているが、開設時の協議が必要なことから、自治会長等に鍵を渡す運用は行っていない。</p>
<p>防災倉庫、井戸、かまどベンチなど災害備品があるが、かまどベンチをもっと増やしていった方がよいと考えている。市長の見解は。</p>	<p>【総務部】</p> <p>かまどベンチは、平常時はベンチ、災害時にはかまどになる等、フェーズフリーにかなった備品であると認識している。</p> <p>ただ、かまどベンチだけ整備したとしても、災害時に燃料(木など)をどう調達するのか、誰が火の管理を行うのかなど、使用される地域の方々と調整した上で整備を行う必要があるので、今後、先進事例を参考に、調査研究していく。</p>
<p>避難所となる学校の耐震化はどこまで進んでいるか。</p>	<p>【政策部】</p> <p>高砂市耐震改修促進計画に基づき全ての学校の耐震化は完了している。</p>
<p>文化会館の敷地に病院を建てる計画があるが、川の近くで浸水は大丈夫か。</p>	<p>【政策部】</p> <p>浸水対策については、令和7年12月に策定の「高砂市民病院の将来予測の結果による経営形態」において検討を行ったが、本構想・計画においても引き続き検討を重ねていく。</p>
<p>避難所のプライバシー問題、生理用品の配布など女性目線の対応はどうか。</p>	<p>【総務部】</p> <p>市の女性職員を中心として、ワーキンググループを組織し、備蓄品や避難所マニュアルなどについて意見収集を行っている。</p> <p>避難所におけるプライバシー問題についてはテント型パーティションを活用することを考えている。また、生理</p>

	用品などは女性職員や女性の避難者から配布してもらうことを考えており、サニタリー用の黒いビニール袋の備蓄も行っている。
松村川排水機場完成後の効果は。 雨水ポンプの増設や改修の効果は。	【上下水道部】 松村川排水機場について、台風の接近等で大雨が予測される時は、事前にポンプで排水を行い、鹿島川・松村川の雨水貯留容量を確保し、大雨に備えている。以前と比べると川の水位は上がらなくなっていることから効果が出ていると考えている。 現在、松村川の河川内にあった鹿島排水機場を撤去しており、更に貯留容量を確保した。今後、大雨が降る際に、改めて効果を検証し、松村川排水機場の効果が最大限発揮できるよう検討していきたい。
仮設トイレ設置の協定を結んだということだが、設置されるのはどのようなトイレか。利用後の清掃や衛生管理は。	【総務部】 水洗機能付きの仮設トイレの設置を予定している。 仮設トイレの数量によっては、利用後の清掃・衛生管理を、市の避難所運営職員だけでは実施不可能であるため、外部からの支援者や避難者の方々にも協力をお願いして行うこととなる。

フリートーク

参加者	現在の状況
市民病院の移転について。文化会館敷地に移転の報道があったが決定事項か。	【政策部】 令和7年6月公表の「高砂市民病院移転候補地の考え方について」において、文化会館敷地を移転候補地とした。 また、令和8年度に「高砂市民病院新病院基本構想・基本計画」を策定する予定であり、本構想・計画では、現文化会館敷地を移転地として敷地配置の検討を行う。
市民病院は建替え前提となっているが、建替えたからといって医師が来るのか疑問。 軟弱地盤に震災があると、被害がより酷くなる。	【政策部】 指定管理者制度の導入を行うが、医師確保の面では、指定管理者母体からの医師派遣や民間ノウハウを生かした採用活動などが期待できると考えている。 軟弱地盤の場合、補強を行うなどの対策が考えられるが、今後、事業を進めていく中で必要に応じて対応していく。
播磨臨海地域道路で地域分断されないか。	【都市創造部】 播磨臨海地域道路については、各事業段階に応じて、今後も引き続き、説明を行っていく。
郷土資料館はちゃんと作ってほしい。親しみやすい高砂市になると思う。	【教育部】 貴重な文化財を保存活用するため、適切に保管し展示公開する機能を有する資料館を整備することについて

	て、課題や効果等を諮りながら、今後検討していく。
市民病院での新型コロナウイルス感染症対応の際は、あの広さがあったから対応できた。市民病院を小規模化すると医師や診療科数の維持に不安がある。改修や現状維持で対応できないか。	<p>【政策部】</p> <p>令和6年1月策定の「高砂市民病院将来構想」では、移転建替え、現地建替え、大規模改修の3パターンを比較検討した。</p> <p>現病院の運営を休止、制限することなく病院機能を移行でき、患者に一番負担かけないことを勘案し、移転建替えとした。</p> <p>今後も新興感染症や災害医療については、公立病院として市民の皆さんに安心いただけるよう対応していく。</p>
市民病院の赤字の内訳を詳細分析しているか。材料費や人件費の上昇への対応は。	<p>【市民病院】</p> <p>内科医師数の減少等に伴う診療体制の制約により、患者受入能力が低下し、患者数の減少に起因する医業収益の低下が経営状況の悪化を招いている。</p> <p>経費の削減については、物価高騰により困難な中、継続して診療材料や薬品等の安価な代替品への見直しを行っている。</p> <p>人件費については安易に人事院勧告による増額を適用しないこと、診療科間の連携による受け入れ態勢を構築するなど人件費の抑制を図りながら患者の確保に努めている。</p>
市民病院への公共交通(バス)が改善されていない。今後の対応は。	<p>【都市創造部】</p> <p>令和8年3月策定の“地域公共交通計画”を基に、持続可能な公共交通サービスの提供を目指していく。</p>
高砂町の買い物支援(移動販売など)について市の取り組みは。	<p>【生活環境部】</p> <p>買い物支援については、事業者及び自治会と調整を行い、令和7年11月から移動販売が開始されている。</p>